

坂

SAKA

土佐から来たぜよ！

本

MOTO

龍馬暗殺から
150年



龍

RYO

開催期間 2017

1/20 [金] ~ 3/12 [日]

開催場所 林原美術館

開館時間 10:00~17:00
(入館受付は16:30まで)

月曜日休館 (祝日の場合は翌日)

●入館料

一般 800円 高・大学生 600円

小・中学生400円 友の会会員300円

*身体障害者手帳提示の方・付添者 無料 *団体(20名様以上)2割引

[主催] 林原美術館 高知県立坂本龍馬記念館

テレビせとうち 山陽新聞社

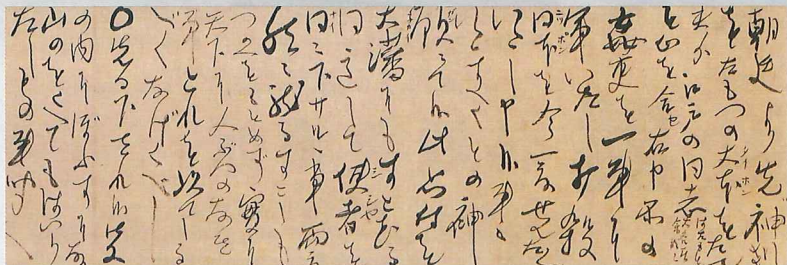
馬

MA

昨年、高知で86年ぶりに公開された 龍馬“幻の愛刀”(脇差)。
室町末期、備前長船の名工、勝光と宗光の合作。



龍馬佩刀 (個人所蔵)



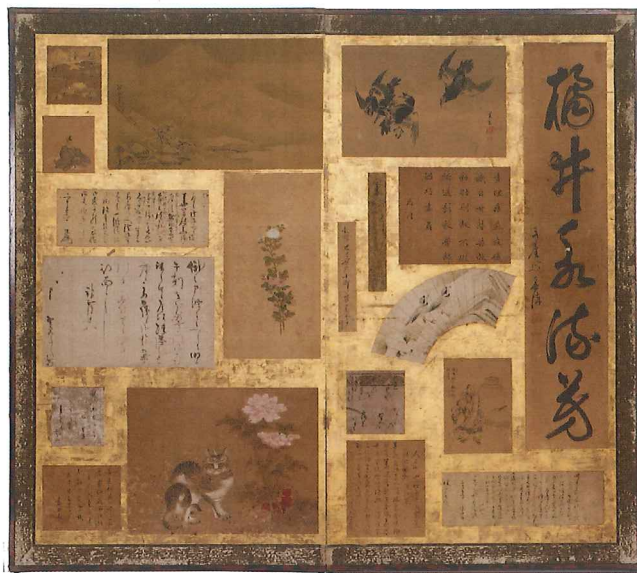
龍馬の名言「日本を今
一度せんたくいたし
申候：」が書かれた
姉乙女宛の書簡。

坂本龍馬書簡 (複製) 文久3年6月29日 姉乙女宛

展

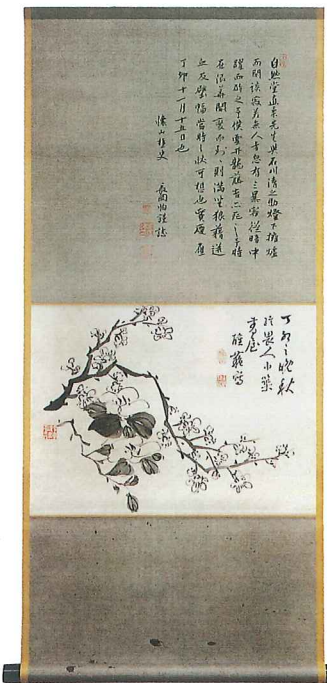


画 公文菊庵



血痕のついた掛軸と貼交屏風(複製)

慶應3年11月15日、京都河原町三条の近江屋二階で刺客に襲われ絶命。部屋には掛軸と屏風があり、それには飛び散った血痕があった。



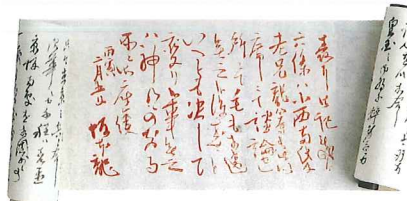
龍馬暗殺から
150年

坂本龍馬展

「坂本龍馬記念館」初の県外展!

天保6(1835)年、土佐に生まれた龍馬は、強い意志と行動力によって新時代への道を切り開きました。龍馬暗殺から150年の2017年、高知県立坂本龍馬記念館の全面的な協力のもと、同館所蔵の龍馬に関する資料をご紹介します。

壮大な志を「日本(ニッポン)を今一度せんたくいたし申候事ニいたすべく」と表現した、姉・乙女宛書簡をはじめ、暗殺現場にあった「血痕のついた掛軸」などを通じて、龍馬の人物像と波乱に満ちた生涯をたどります。龍馬が最も愛したという龍馬佩用の脇差(備前長船)も特別展示。



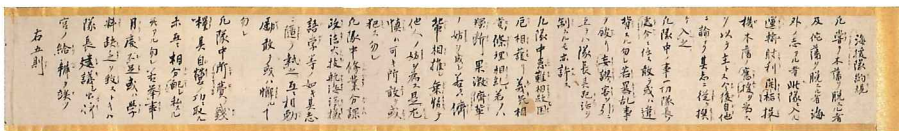
薩長同盟盟約の裏書き(複製)

慶應2年2月5日 桂小五郎宛
龍馬立会いのもとに薩長両藩の盟約が成立。慎重な桂は盟約六カ条を書き綴り、龍馬に裏書きを求めた。



陸奥守吉行(刀)

京都近江屋で刺客に襲われた時、龍馬が持っていた刀「吉行」と同じ刀工の作。



海援隊約規(複製)

隊士の資格は脱藩者と海外への志ある者。航海術や英語を勉強するなどの心得が書かれている。



坂本龍馬の紋服・袴(複製)

着丈149cm、袖丈50cm、肩巾32cm、袴丈65.5cm。
家紋は組合わせ角に桔梗紋。

展示解説

(坂本龍馬記念館・学芸員)

本展会期中に坂本龍馬記念館の学芸員による展示解説を行います。龍馬について、より深く知ることができる絶好の機会です。事前申込は不要です。ぜひご参加下さい。

1月22日(日)

14時00分～(約60分)

3月4日(土)

14時00分～(約60分)

坂本龍馬書簡(複製)

慶應2年12月4日姉乙女宛
龍馬とお龍が旅行した霧島山登山のことを絵入りで述べている。この鹿耳島旅行が日本最初の新婚旅行と言われている。



●交通案内 JR岡山駅から徒歩25分 市内電車/東山行 県庁下車徒歩7分
岡電バス/岡電高層行 県庁前下車徒歩3分
宇野バス/瀬戸駅行・四御神行 県庁前下車徒歩3分
循環バスめぐりん/県庁線、県庁・京橋線(Cルート) 県庁前下車徒歩3分

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>